

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月 20日	
大阪市長 殿	
提出者	
住所 大阪市東淀川区西淡路4丁目25番66号	
氏名 株式会社 山新	
代表取締役社長 山本 友亮	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 06-6322-4691	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 山新（ダスキン大阪西工場）
事業場の所在地	大阪市東淀川区西淡路4丁目25番66号
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	78：洗濯業
②事業の規模	製造品出荷額：251百万
③従業員数	75人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	A－1工程 汚泥	A-2、A-5工程 廃油
	排 出 量	2145 t	1930 t
	(これまでに実施した取組) ・ カチオン高分子を使用し、汚泥の脱水効率を高める。(汚泥) ・ 洗浄水を軟水に変更し、凝集剤使用量の削減。(汚泥) ・ 振動ふるい機を導入しピット内の沈砂を回収。(油泥) ・ 廃水処理経路を変更し、振動ふるい機での沈砂回収量増加(油泥) ・ 品質基準外のマットを修理。(廃プラスチック)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	A－1工程 汚泥	A-2、A-5工程 廃油
	排 出 量	2080 t	1872 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 現状の取り組みを維持継続		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 物流・製造部門で発生する廃棄物を一般廃棄物、産業廃棄物に分別。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 特になし		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

A-3、A-4工程 油泥	B－1工程 廃プラ類	B－2工程 廃プラ類	
0 t	49.8 t	41 t	t

②計画

A-3、A-4工程 油泥	B－1工程 廃プラ類	B－2工程 廃プラ類	
0 t	50 t	40 t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	A－1工程 汚泥	A－2工程 廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	20.7 t
	（これまでに実施した取組） ・汚泥脱水の脱離液を油水分離し、廃油（有価物）にする。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	A－1工程 汚泥	A－2工程 廃油
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	20 t
	（今後実施する予定の取組） ・現状の取り組みを維持継続		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	A－1工程 汚泥	A－2工程 廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1930 t	1909 t
	（これまでに実施した取組） ・汚泥（スラリー）をフィルタープレスで脱水し、ケーキにする。 ・汚泥脱水の脱離液を油水分離し、廃油（有価物）にする。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	A－1工程 汚泥	A－2工程 廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1872 t	1852 t
	（今後実施する予定の取組） ・現状の取り組みを維持継続		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

A－3工程 油泥	A－4工程 油泥	A－5工程 廃油	B－1工程 廃プラ類
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

A－3工程 油泥	A－4工程 油泥	A－5工程 廃油	B－1工程 廃プラ類
0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

A－3工程 油泥	A－4工程 油泥	A－5工程 廃油	B－1工程 廃プラ類
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

A－3工程 油泥	A－4工程 油泥	A－5工程 廃油	B－1工程 廃プラ類
0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

A－3（2）工程 油泥	A－4工程 油泥	A－5工程 廃油	B－1工程 廃プラ類
0 t	0 t	0 t	49.8 t
0 t	0 t	t	49.8 t
t	t	0 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	A－1 工程 汚泥	A－3（1）工程 油泥
	全 処 理 委 託 量	208 t	0 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	208 t	0 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・現状の取り組みを維持継続		
※事務処理欄			

②計画

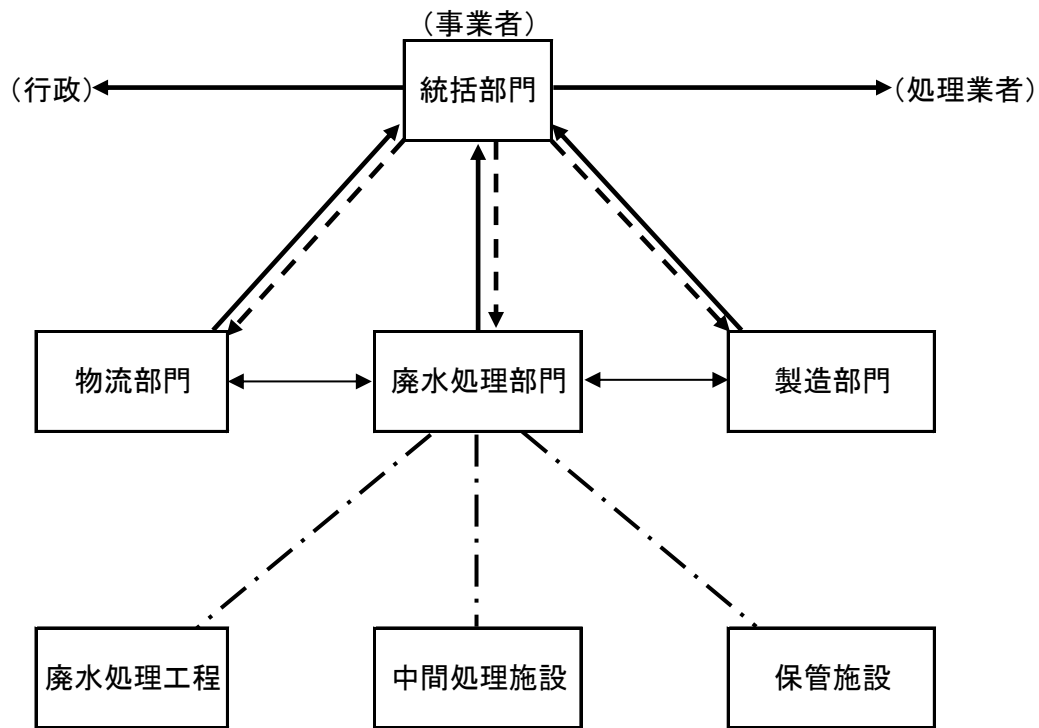
A－3（2）工程 油泥	A－4工程 油泥	A－5工程 廃油	B－1工程 廃プラ類
0 t	0 t	0 t	50 t
0 t	0 t	t	50 t
t	t	0 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

添付資料 管理体制図及び各部署の役割

〔管理体制図〕



—————▶ 報 告

- - - - -▶ 指 示

◀—————▶ 相互連絡

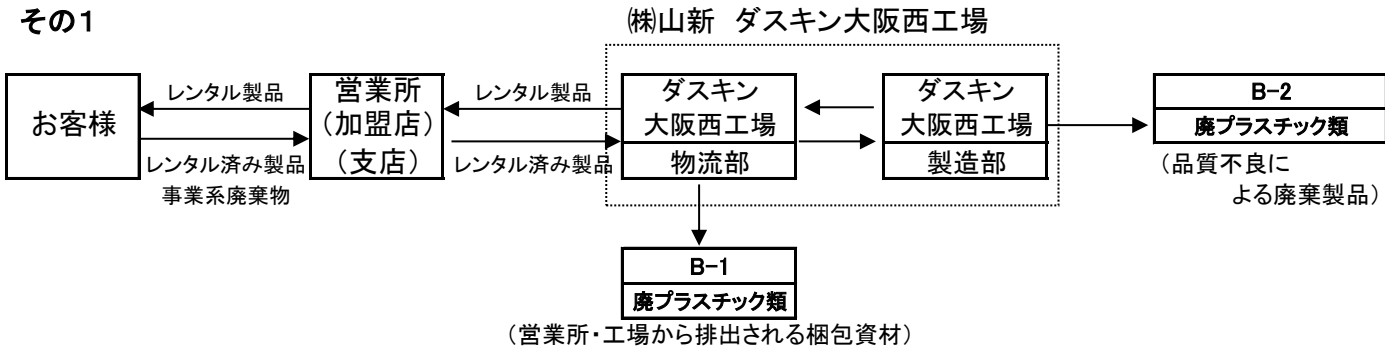
- . - . - . - . - . - 指 示

〔各部署の役割〕

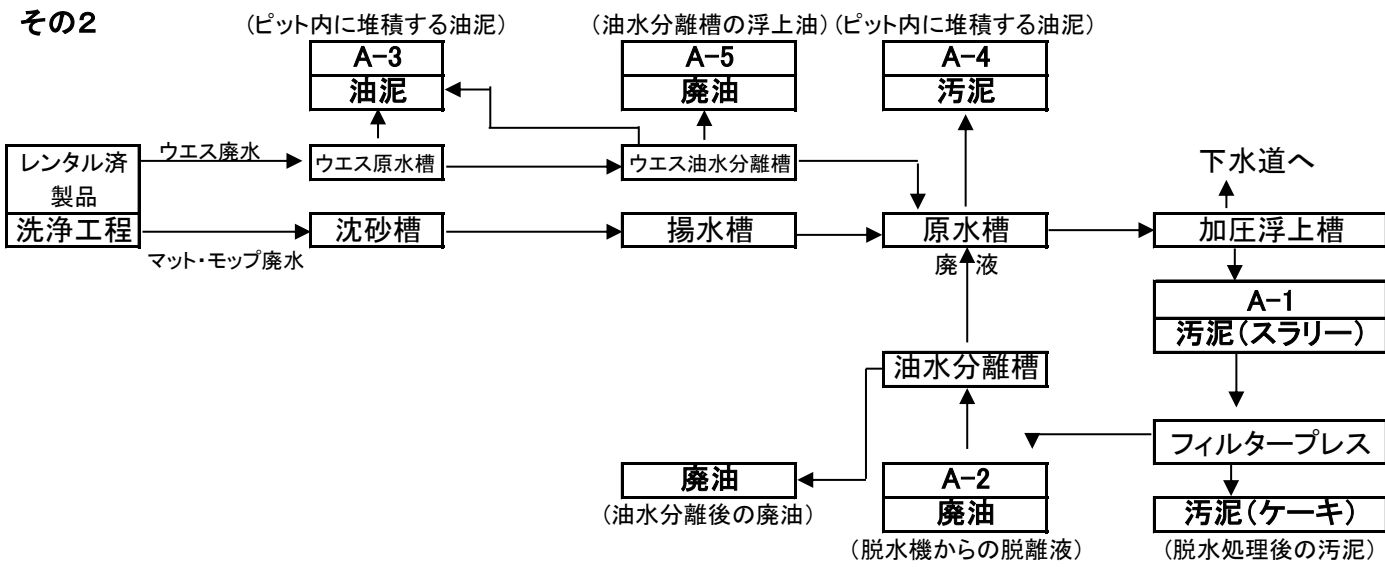
部 署	役 割
A 統括部門	・産業廃棄物の発生工程、種類ごとの発生量、排出量及び性状等のチェック、集計等 ・処理施設(事業場内・外)の定期的査察 ・行政に対する報告等 ・処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票(マニフェスト)等の管理 ・産業廃棄物の適正管理及び減量化等に関する社内啓発 ・各部署間の調整及び指示 ・廃棄物の資源化・減量化及び適正管理について検討し産業廃棄物処理計画の策定及びその実施
B 廃水処理部門	・産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握 ・各現場の施設の維持管理点検等 ・保管施設での保管量の把握、記録の作成等 ・中間処理施設の稼働状況の把握、記録の作成等 ・産業廃棄物の分析及び環境事象の分析、測定等 ・上記内容をA に報告
C 物流部門	・一般廃棄物と産業廃棄物の分別 ・上記内容をA に報告
D 製造部門	・一般廃棄物と産業廃棄物の分別 ・上記内容をA に報告

発生工程フローシート

発生工程 その1

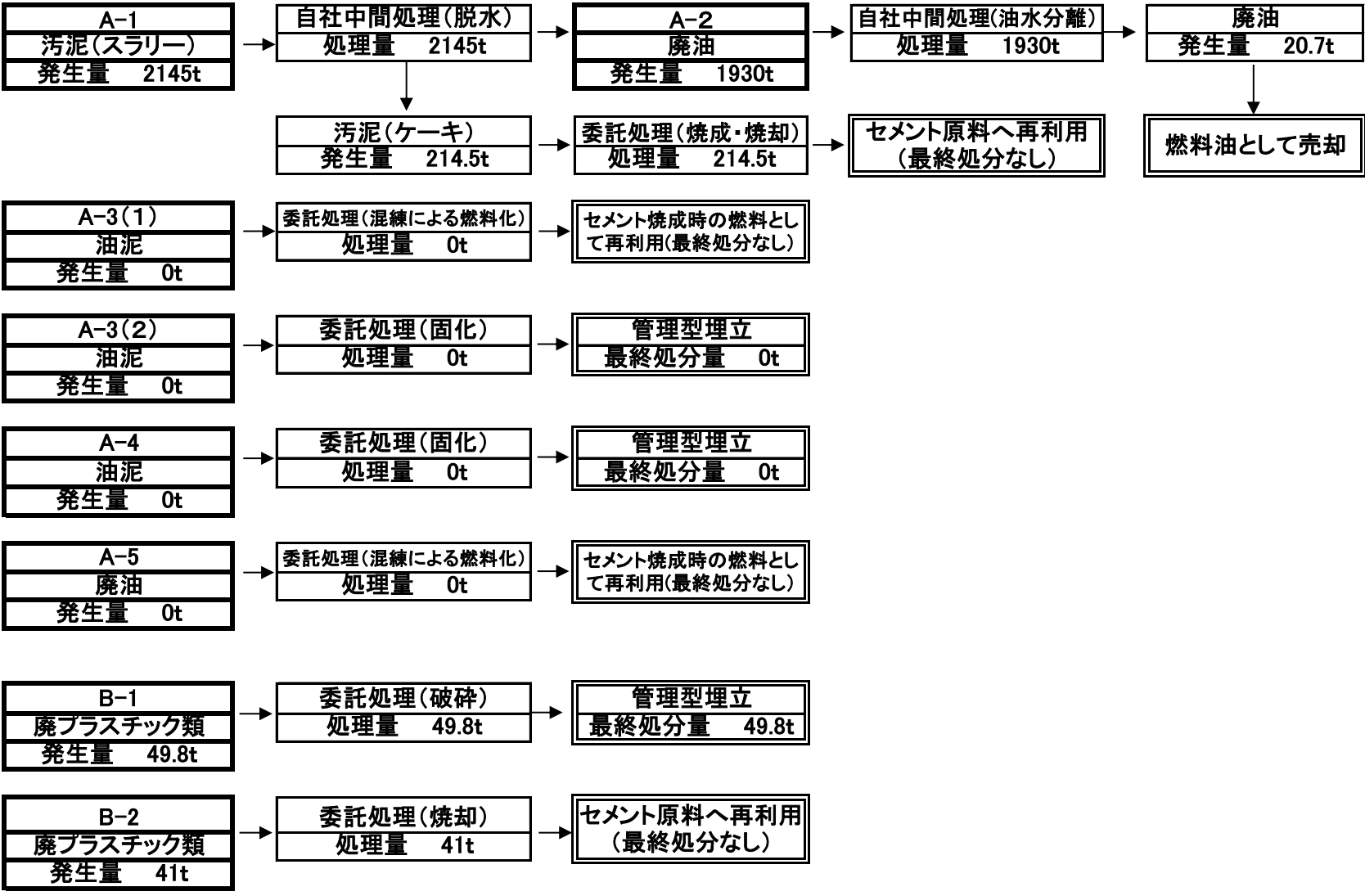


発生工程 その2



処理工程フローシート

* 発生量の数値は令和5年度の実績値



スラリー発生量＝脱水後汚泥×(100%－脱水後の含水率%)÷(100%－脱水前の含水率%)
脱水後の含水率＝50% 脱水前の含水率＝95%